



## 一人ひとりに寄り添った看護をするために 「寄り添い」について考える本学独自の授業「仏教看護論」

京都光華女子大学（学長：高見 茂）健康科学部看護学科では、仏教精神に基づく看護教育である「仏教看護」を教育基盤として、知識・技術に加え、患者さん一人ひとりに寄り添うことのできるおもいやりの心をもった看護職を養成しています。

本学看護学科の必修科目である「仏教看護論（担当教員：小澤 千晶 准教授）」にて、10月23日（月）、臨床僧侶として活動する長倉 伯博 先生（浄土真宗本願寺派布教使、善福寺住職）を講師に迎え講義いただきます。

### 「生老病死」の理念を仏教看護を通して看護過程で実践できる人材を育成

「仏教看護論」では、仏教の視点からいのちをみる視点を学び、自分自身の「生命観」「人生観」「人間観」を内省します。「いのちの見方」を深めていくことで、生老病死の現場で看護師として「他者に寄り添う」心のあり方について考えます。

また、「仏教看護論」は、看護学科2年生を対象として仏教看護の概念を学ぶ「仏教看護論Ⅰ」と、看護学科4年生を対象として医療現場での仏教看護の実践を学ぶ「仏教看護論Ⅱ」に分かれており、今回は「仏教看護論Ⅱ」で長倉先生を講師に迎え講義いただきます

### 看護学科の学生と外部宗教者でのグループワークも

本講義では受講する看護学科の4年生（87名）と外部宗教者（僧侶）とで、長倉先生が臨床で出会った事例についてグループで討議する時間も設けています。グループワークを通して、患者が抱える答えが出ない問いに看護師としてどう向き合うか、そして臨床現場における宗教者との協働の意義について考えることを目的としています。グループワークの最後には各グループからの発表も予定しています。

### 外部宗教者には事前学習会を実施

グループワークを行う外部宗教者には10月6日（金）に事前学習会を実施致しました。事前学習会では長倉先生、小澤先生に加え、滋賀医大名誉教授 早島 理 先生（大成寺住職）、滋賀医大名誉教授 室寺 義仁 先生、本学福祉リハビリテーション学科作業療法専攻\* 教授 森本 かえで 先生を講師として「合同講義への願い」をテーマに講演、その後、参加者と意見交換を行いました。

\*2024年4月開設

## ■「仏教看護論Ⅱ」概要■

【日 時】2023年10月23日(月) 12:50~17:40

【講 師】長倉 伯博 先生（浄土真宗本願寺派布教使、善福寺住職）

【講 題】僧侶（宗教者）との協働（講義、グループ討議）

【場 所】京都光華女子大学 4号館1階 121教室（阪急京都線「西京極駅」より徒歩約7分）

【参加者】本学看護学科4年生 87名

報道各社におかれましては、ぜひ、取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

「取材に関するお問い合わせ」

京都光華女子大学/短期大学部 入学・広報センター 担当：川島

[TEL] 075-312-1899 [FAX] 075-312-5594 [E-mail] hkk@mail.koka.ac.jp [URL] <https://www.koka.ac.jp/>



### Well-Being を実現する健康・未来創造キャンパスへ

京都光華では、これまで80余年にわたって仏教精神に基づく女子教育に取り組んできました。その根幹にあるのは校訓「真実心」。世界が目指す「持続可能な社会」に通じる重要な考え方です。私たちは、この理念のもと、すべての人が健やかに暮らせる「Well-Being」な未来の実現を目指し、学生一人ひとりに、そして地域に寄り添い、社会の要請に応えてまいります。